



11月9日は「119番の日」

自治省(総務省)消防庁が1987(昭和62)年に制定しました。119番が誕生したのは1927(昭和2)年です。この日から秋の火災予防運動が始まりました。



どうして『119番』なのでしょう? 今では日本人の誰もが知る、火災・救急などの緊急通報ダイヤル番号である『119番』。しかしこの『119番』、昭和2年までは『112番』だったのです。ではなぜ現在の『119番』になったのでしょうか? 当時は黒電話であり一刻を争う緊急のダイヤル時間の短い番号として指定されたのですが「ダイヤルに不慣れなためか誤接続が多かったため」、また「最後に9を回すことにより、落ち着いて話すことができるため」という理由で現在の『119番』になったと言われています。



▶ 海外の緊急番号 海外旅行の参考に...

アメリカ・カナダ・ハワイ*911 / 韓国・台湾*119
中国*120 / オーストラリア・ニュージーランド*000
フランス・ドイツ*112 / イギリス・香港*999



会場は梅田地下街の
ティーズスクエア



文楽を中心とした古典芸能振興事業のひとつである『まちなか文楽展』を営業豊田さん、デザイン竹内さん、製作は川崎課長を中心とするすべての工程を弊社で受けさせていただきました。ブースのアイキャッチとして置かれた文楽人形の首(かしら)は高木さんにもなる巨大な造形物です。そんな大きな首の造形製作に携わった、大阪製作部のホープである山本くんに感想を聞いてみました!

『文楽の造形物で僕が携わらせて頂いたのは、写真からパステータを書きおこして紙あたりを出し、スチロールを切り出す用のベニヤを用意する所までの、最初の下準備でした。360°の立体物なので、正面と側面のデータを作り、

大阪現場より



目や鼻、口などの部位をしっかりと関連づけて配置しておかないと成り立たず僕の写真のみでデータを作成して、細部の関連は川崎課長に任せながらの作業でした。立体物は初めから最大の最後で、最初から最後まで関わられなかったのは残念な経験になりました。



中央労働災害防止協会
Japan Industrial Safety & Health Association

労働災害防止団体にに基づき、1964年(昭和39年)に設立された団体。2000年(平成12年)6月19日に特別民間法人となった。略は中災防。

中災防が主唱する「**年末年始無災害運動**」。年末年始は慌ただしく、生活のリズムもかわりやすくなり、普段にも増して『安全確認、安全作業』が重要となります。働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるようにとこの運動は45年間行われてきております。そして、このような趣旨を踏まえた今年のスローガンが

「たぶん」「だろう」に危険がひそむ しっかり点検 年末年始

忙しいときこそ、徹底した『安全確認、安全作業』を心がけることが、大切ですね。